



ムスリム学者列伝

イブン・アル＝ハイサム
(965-1040、カイロ)

西洋ではアルハーゼンの名で知られる。物理学、工学の分野で活躍。光学、天文学、数学の分野で大きな貢献を残す。なかでも、カメラの発明は彼に帰する。事実、物理学・数学・天文学の分野の多くの研究者が、カメラという言葉はアラビア語のクムラ(暗室)からきていることを証言する。また、このクムラは彼の発明である。彼はカメラオブスキュラ(暗箱)を考案した。これは凸レンズ付きの暗箱にある小さな穴を通して物体が上下逆さまに投影されるという、カメラの原型となったもの。